

農民の身分

正確には分かりませんが、江戸時代には農民のおおよそ七、八割が小作階層であったと推定されます。つまり、ほとんどの農民が小作階層だったといってもよいでしょう。

農民社会には本家、名子、間脇などの身分差別があり、それらの数は固定されていません。これを百姓株ともいい、金持ちの農民は子弟に株を買って与えましたが、貧乏な農民は株を守ることによっていっばいでした。そのため、百姓株は特定の家柄に独占される傾向になっていったようです。

それは現在でも言葉の上だけですが、残っています。「何々のマキ」などという家柄集団を表す方言にその名残がみられるのです。

小作料の決定

小作階層は地主との対策に頭を痛めていたようです。「新発田藩政務日記」に「三の記録が残っています。」

①寛政五年(一七九三) 十二月二十三日
小作が集会を開き、減税要求をまとめて大庄屋に願出たが逆に代表者三人が入牢処分

②同十一年(一七九九) 十一月六日
小作料未納のために小作権を



取り上げられた小作人が越訴したが「追込」処分

③文化三年(一八〇六) 六月十九日
地主が小作料未納の小作人を訴え、小作権を解消。小作人は「追込」処分

当時の慣習では、小作料の決定は「地主と小作の相対で決定

すること」とされてきました。ですから集団を組んだり、裁判に訴えることは禁止されていたのです。しかし「相対で決定すること」はほとんどなく、実質的には地主が決定していたのでした。

このおきては当然、小作階層も承知していました。それでもなお訴え出た背景には、貧しい生活があったのでしょう。

小作の生活

小作階層の生活はたいへん質



素でした。食事は更け米や雑穀の雑炊とわずかの煮つけ程度。着物は着たきり。住まいはたいへい小屋で、丸太、かや、荒縄などを材料にしていた。家財道具などはほとんどありませんでした。

道で高持ち百姓に会えば、隅に寄って道を譲り、地主に会えば土下座も珍しくありません。地主の田の手伝いには暗れ着を着たといひます。

生活に困窮した小作のたどる道は、借金→人身売買→百姓株の売却→夜逃げと相場が決まっていた。現代のような金融機関や救済制度がほとんどなかったのですから、夜逃げもやむをえない手段だったのです。

古文書には、なべやかまを借金の担保にしたことや、青少年の売買、夜逃げの記録がよくみられます。その実情は、替女たちが三味線に合わせて悲哀を込めて歌った「蒲原口説」に伝えられているのです。

とても親日的な国インドネシア

ジャカルタでの思い出



語る人
丸山一郎さん
(二の町4七十四番)

先年ある機会を得て業界の人たちとインドネシアへ旅をすることができました。まず驚いたことは、とても親日的な国だということでした。このことは、戦後日本の将兵が多数居残り、当時オランダ領であったインドネシアの独立を、現地の住民と協力して勝ち取ったことや、スカルノ大統領夫人が日本人であったことなどが影響していると聞きました。

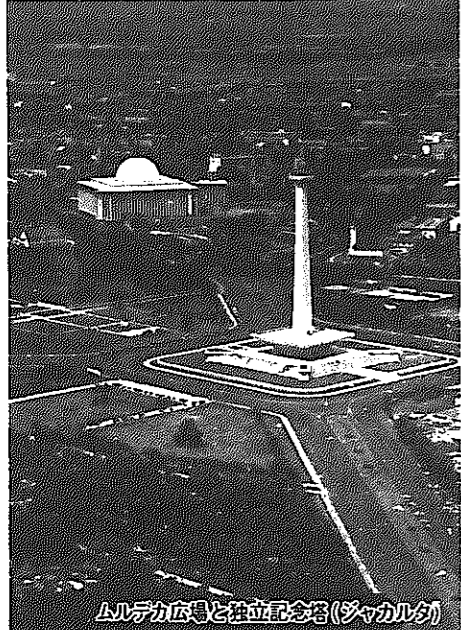
首都ジャカルタのメインストリートには、日本のメーカーや

商品のネオン、看板があふれていて、日本のどこの街を歩いているような感じがしました。また、観光バスの年配の男性ガイドは実に日本語がうまく、歌は日本の軍歌ばかり。聞けば、戦争中に、ジャカルタにあった日本の陸軍病院で働いていた覚えたということでした。

旅でのエピソードの一つ。ある靴店に入ってカンガルーの靴を注文したのですが、店員とどうしても言葉が通じない。しかたなく、おなかの袋から顔を出しているカンガルーの絵をかけたところ、店員は即座に「カングルシューズ」と言って出してくれました。店員もここに、私もここに、接する住民がみんな親切で、心温まる思い出いっぱいになりました。

私の思い出

あの時この場所



多世代、習生

教育委員会社会教育課
佐藤 正則

生涯教育の必要性を提起

生涯教育はごく少数の選ばれた人のものでなく、すべての人に必要であると提唱したポール・ラングラン。彼の考えが我が国に紹介されたのは昭和四十二年のことです。これに基づいて、昭和四十六年に社会教育審議会は「急激な社会構造の変化に対応する社会教育のあり方について」という答申を出しました。これは、社会の大きな変化に伴って起こるいろいろな課題に対応するため、生涯教育の必要性を提起したものでした。

社会的な六つの課題

答申では社会構造の変化に伴う課題として、次の六つを挙げています。

- 一、人口構造の変化 出生率と死亡率が低下し、急速に人口構造の老齢化が進む
- 二、家庭生活の変化 核家族が増



えることなどにより、家庭的教育的機能が低下する

- 三、都市化 産業や人口が都市に集中し、個人生活への志向が高まる。また、全国的に地域社会の連帯意識が希薄になる
- 四、高学歴化 学歴水準が高くなる反面、学校教育に負担が掛かり過ぎたり、学校生活に適應できない子どもたちが増える
- 五、工業化・情報化 技術革新によって工業化が進んで巨大組織が発達すると、人々は組織の中で歯車化し、孤独な群集となる。また情報の洪水に圧倒され、個性と自我を失う傾向が出てくる
- 六、国際化 直接的、間接的に国民生活と世界各国との結び付きが強くなり、国際的な交流や影響、協力を考えていかなければならなくなる

今から二十年前に出されたこの答申をきつかけとして、我が国でも生涯教育の必要性が叫ばれるようになったのです。「生涯教育」という言葉やその考え方は、教育機関だけではなく、企業でも取り上げられるようになりました。

私の一冊

No.2
「大きな森の小さな家」
ローラ・インガル・ワイルダー
福音館書店

須田英子さん
(能登1・51歳)



大自然のまっただ中で助け合い、生活のすべてを自分たちの手でつくる。信仰深く、厳しい生活の中にも、楽しさを見いだしていく人々の暮らし。今、私たちが忘れがちなものを思い出させてくれる、私の大好きな本です。



私の一冊 あなたの心に残るあの時の思い出をお寄せください
私の思い出 あなたの愛読書をご紹介ください
白根市役所広報広聴係 (〒950-12 白根市大字白根1235・☎373-2111) 皆さんのお待ちしております

市立図書館新刊案内

市立図書館 ☎373-2810
宮本武蔵1・2 (笹沢左保)
ブラック・ダリア (ジェームズ・エルロイ) 俺達は天使 (カタギ) じゃない (安部謙二) かそけき音の (藤堂志津子) ピアニシモ (辻仁成) じゃあせの白いうさぎ (那須田稔作・小谷智子絵) けいことおねえちゃん (ますだけいこ) わが愛の日々 (阿部牧郎) 怪盗シバコ復活 (北杜夫) はやぶさ新八御用帳2 (平岩弓枝) 三階の魔女 (山崎洋子) ほか多敷

原稿募集